



設定例

例：アクティブ/アクティブ構成の冗長ノード

宛先ネットワーク 'dest_network' のネクストホップが Cisco Catalyst 8000V 1 のルートエントリに route-name1 が対応し、ネクストホップが Cisco Catalyst 8000V 2 のルートエントリに route-name2 が対応する HA 構成を考えます。ルータをアクティブ/アクティブモードで設定するには、route-name1 と route-name2 に等しいルートプライオリティを設定します。この場合、Google クラウドは、アフィニティの5タプルハッシュを使用してルート間でトラフィックを分散し、ECMP ルーティング設計を実装します。

VPC の Google ルート収集のルートエントリに対応する両方のルータのノード設定は次のようになります。

```
create_node -i 1 -g <project-id> -r dest_network -o 200 -n nexthop_ip_addr_c8000v1 -a route-name1 -b route-name2 -p gcp -v vpc_name  
create_node -i 2 -g <project-id> -r dest_network -o 200 -n nexthop_ip_addr_c8000v2 -a route-name2 -b route-name1 -p gcp -v vpc_name
```

例：アクティブ/パッシブ構成の冗長性ノード

同様に、Cisco Catalyst 8000V インスタンスをアクティブ/パッシブモードで設定するには、一方のルートのプライオリティをもう一方のルートよりも高く設定します。この場合、Google クラウドは、VPC vpc_name から dest_network に優先順位の高いルート（この例では route-name1）を介してすべてのトラフィックをルーティングします。

VPC の Google ルート収集のルートエントリに対応する両方のルータのノード設定は次のようになります。

```
create_node -i 1 -g <project-id> -r dest_network -o 200 -n nexthop_ip_addr_c8000v1 -a route-name1 -b route-name2 -p gcp -v vpc_name  
create_node -i 2 -g <project-id> -r dest_network -o 400 -n nexthop_ip_addr_c8000v2 -a route-name2 -b route-name1 -p gcp -v vpc_name
```


翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。